

2018 年 10 月 1 日

都道府県市教育委員会 様  
英語科担当指導主事 様  
小学校・中学校・高等学校長 様  
英語科教育担当教員 様  
外国語科・英語科教員 様  
外国語活動担当教員 様  
語学教育研究所会員 様

一般財団法人 語学教育研究所  
所長 小菅 和也

## 一般財団法人 語学教育研究所 2018 年度 研究大会

一般財団法人 語学教育研究所は、1923（大正 12）年、Harold E. Palmer 博士を初代所長として設立され、日本の語学教育の発展・改善に尽力してまいりました。また、1924（大正 13）年の第 1 回研究大会以降、1945（昭和 20）年を除いて毎年研究大会を開催しています。今年度は 95 年目となります。小学校・中学校に引き続き、高等学校の新学習指導要領も告示されました。大学入試についても、英語の民間試験が取り入れられるなど、近い将来大きな変革が待ち受けています。しかし、ことばの教育の本質は、そう簡単に変化するわけではありません。語研は常に本質を見据えて「英語教育」を考え、実践に結びつく主張や提案をしてきました。今後もその基本方針が変わりはありません。今年度も 1 日開催となりますが、その分内容を一層充実させ、参加された先生方や教員志望の学生の皆様にとって、有意義な 1 日となり、ひいては、日本の英語教育の改善・発展に少しでも寄与できればと願っています。

期 日 2018 年 11 月 18 日（日）  
会 場 東京家政大学（東京都板橋区加賀 1-18-1）120 周年記念館  
参加費 

語研会員の方	…………… 無 料
会員でない方	一般 …… 3,000 円
	学生 …… 1,000 円

お問合せ 研究大会についてのお問い合わせは語学教育研究所まで。  
会場の東京家政大学にはお問い合わせにならないようお願いいたします。

本プログラムが「入構証」となります。大会当日、正門守衛所でこのプログラムを提示してください。

※事前の参加申し込みは必要ありません。  
※録音およびビデオ・写真等の撮影は固くお断りいたします。  
※学内の食堂および売店をご利用になれませんので、昼食は各自ご用意ください。  
ゴミの持ち帰りにもご協力願います。

一般財団法人 語学教育研究所

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 6-36-13 サザンパレス西日暮里 102

TEL 03-5901-9214 FAX 03-5901-9215 URL: <http://www.irlt.or.jp/>

# 一般財団法人 語学教育研究所 2018 年度研究大会プログラム

11 月 18 日 (日) 120 周年記念館 ..... 受付開始 9:00

〈会場：3階 120-3C 教室〉

(1) 開会式 ..... 9:30 ~ 9:35  
 挨拶：研究所所長 小菅 和也 (武蔵野大学)

(2) 贈賞式 ..... 9:35 ~ 9:55  
 1) パーマー賞  
 2) 外国語教育研究賞  
 3) 若林俊輔奨励賞

(3) 協議会 I ..... 10:00 ~ 12:00

協議会 A  2 階 120-2B	<b>指導法研究</b> ：(1) 文法指導「数 (単数・複数)」 ..... 《第 3 研究グループ》 (2) 「英語表現」の指導 (1) 数 (単数・複数) の概念は、名詞だけではなく動詞にも存在するという考え方と、その指導法を提案します。 (2) 「英語表現」では、教科書にある問題を解き、答え合わせをする授業がよく行われています。教科書の問題点や活用法について考え、効果的な指導法を探ります。 発表者：田島 久士 (東京都大田区立糞谷中学校) 千田 享 (埼玉県立浦和西高等学校)
協議会 B  2 階 120-2C	<b>授業研究</b> ：高校 2 年生 ..... 《第 5 研究グループ》 「コミュニケーション英語 II」の授業を数回撮影・検討し、その授業改善の経過を報告します。今年度の授業者が目指していることは、生徒が「もっと学びたい」と思えるような知的好奇心をかきたてる授業です。これまでの経験を活かして、さらに良い授業を目指します。 司会者：日高 由美子 (東京都立立川国際中等教育学校) 授業者：佐川 美香 (東京都立北園高等学校) 助言者：小菅 敦子 (東京女子大学 他)
協議会 C  3 階 120-3A	<b>小学校英語教育研究</b> ：ここが大切！ 3・4 年生の外国語活動 ..... 《第 10 研究グループ》 5 年生から始まる教科としての英語の学習の土台を築くために、中学年の外国語活動で経験させておきたいことは何でしょう。3・4 年生の学びの特性を生かした授業のあり方を映像や実演も交えて提案します。 司会者：佐藤 玲子 (明星大学) 発表者：浅井 麻衣子 (さいたま市立尾間木小学校) 石田 裕子 (東京学芸大学附属世田谷小学校) 町田 協子 (東洋英和女学院小学部)

休憩 12:00 ~ 13:00

〈3階 120-3B〉 協賛企業 (賛助会員) 展示・販売 9:30 ~ 15:30

(4) 会員総会 〈会場：3階 120-3C〉…………… 12:30 ～ 13:00

司会：研究所常務理事 小菅 敦子（東京女子大学 他）

(5) 協議会 II …………… 13:10 ～ 15:10

協議会 D 2階 120-2B	<p><b>パーマー研究：効果的なインプットとは？</b> 《第6研究グループ》</p> <p>生徒が英語で考えを表現するためには、十分な量のインプットが必要です。では、自然で適切な文脈でインプットを行うにはどうしたらよいのでしょうか。パーマーの著作 <i>English Through Actions</i> には多くのヒントがあります。実演を交えてご紹介します。</p> <p>解説者：久保野 りえ（筑波大学附属中学校） 発表者：浅野 伸子（東京都立小山台高等学校）           栖原 昂（筑波大学附属中学校）</p>
協議会 E 2階 120-2C	<p><b>中学高校英語研究： 中高4校、授業で実践！ 主体的な表現をうながす指導</b> 《第26研究グループ》</p> <p>中1、中3、高1、高3の4つの授業の抜粋をご覧ください。日々の授業で、教科書を用いた着実なインプット活動を行い、様々な形態で自己表現をする活動を紹介します。生徒たちの主体的な英語による表現を促すにはどのような点に留意すべきか、参加者の皆さんと考えたいと思います。</p> <p>司会者：曾根 典夫（筑波大学附属高等学校） 発表者：石川 ひろみ（埼玉県所沢市立上山口中学校）           砂谷 恒夫（東京都立蔵前工業高等学校）           中山 健一（桐朋中学・高等学校）           矢田 理世（筑波大学附属高等学校）</p>
協議会 F 3階 120-3A	<p><b>会員発表（公募）</b></p> <p>司会・助言者：小泉 仁（東京家政大学） 発表者：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 安藤 隆介（東京都立松が谷高等学校） 「Retelling につなげる Oral Introduction」 生徒の4技能を統合した能力の向上をめざして、高校入学時から現在の高校2年に至るまで行った実践をご紹介します。①本文のRetellingを90秒間で50語以上言えること、②本文の題材に関して自分の意見を発信する、を目標に実際に授業で実践している様子をご覧ください。</li><li>2) 中村 剛世志（学習院女子中・高等科） 「音読とプレゼンテーションをつなぐデリバリー指導」 単なる原稿の音読から、効果的に伝わるプレゼンテーションへつなげるために、デリバリーの技術を指導した実践を紹介します。デリバリーの中でも、特にアイコンタクトとハンドジェスチャーについて、段階的な指導例を共有したいと思います。</li><li>3) 喜多 球美（日本女子体育大学 非常勤） 「大学における『英語嫌い』との向き合い方～自己評価シートを活用した指導～」 英語学習に対して苦手意識を持つ学生、または英語嫌いの学生を対象とした研究です。英語学習に対し肯定的な態度を養うために、毎週 Evaluation Sheet という提出物を活用し、自己評価と教師からのフィードバックを実践しました。</li></ol>

(6) 公開授業 (ビデオ) : 高校2年生「異文化理解」…………… 15:20 ~ 17:20

〈会場 : 3階 120-3C 教室〉

「知識構成型ジグソー法」による「協調学習」の授業で、対象は外国語科2年生です。トピックについてグループで話し合い、意見を述べ合います。オーラル・ワークによる意見のやり取りを目標とします。

司会・解説者 : 四方 雅之 (成蹊中学高等学校)

授業者 : 山崎 勝 (埼玉県立和光国際高等学校)

《学生の部》 ※学生の参加者のために「公開授業」の特別解説をします。

〈2階 120-2B〉 解説者 : 江原 一浩 (筑波学院大学)

〈2階 120-2C〉 解説者 : 馬場 千秋 (帝京科学大学)

(7) 閉会式 …………… 17:20 ~ 17:25

挨拶 : 研究所理事長 淡路 佳昌 (大東文化大学)

(8) 懇親会 〈会場 : 11号館 85周年記念館〉…………… 17:45 ~ 19:45

どなたでも参加できます。ご希望の方は当日受付でお申し込みください。(会費 : 3,000 円)

司会 : 研究所理事 松原 知子 (成蹊大学)

